

# 厚別川左岸通

令和3年3月作成

## (1)路線の特徴



## (2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・道路ネットワークの構築

## (3)事業概要

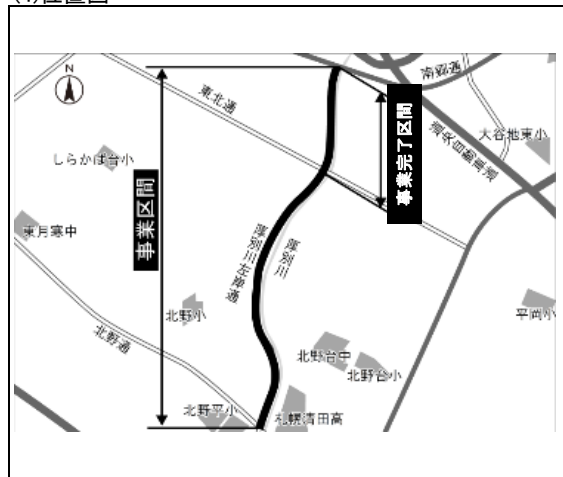
路線名	厚別川左岸通
事業区間	北野通～南郷通
事業延長	2200m
うち、事業着手区間	東北通～南郷通
うち、事業着手延長	620m

現在の道路の状況

事業区間(整備前)



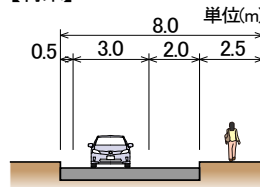
## (4)位置図



## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

一部現道なし

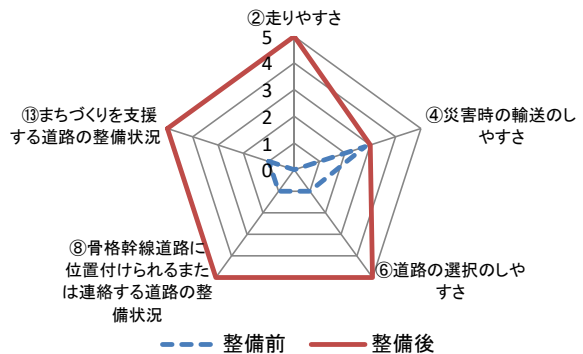
【将来】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 - 路肩幅員-m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク3 車道幅員0m	⇒	ランク3 車道幅員5.5m
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

【グラフ】



## (7)備考

上記の他に、⑫避難施設への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

# 西5丁目・樽川通

令和6年3月作成

## (1)路線の特徴



## (2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・事故危険性の低減
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・地域景観・地域防災力の向上

## (3)事業概要

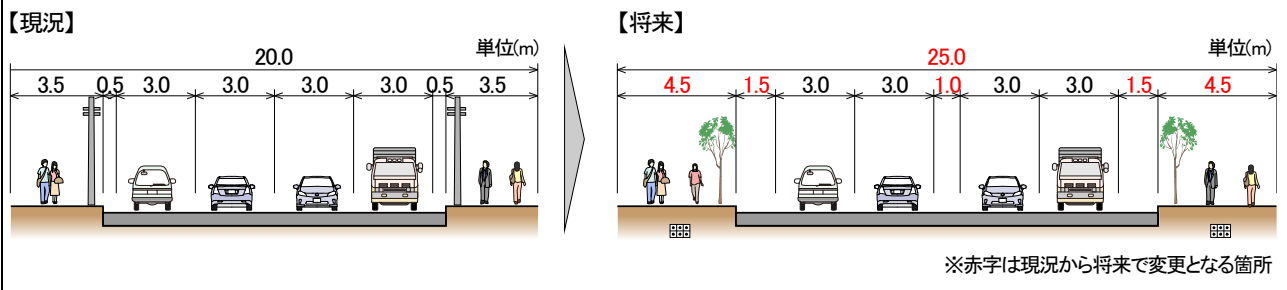
路線名	西5丁目・樽川通
事業区間	北19条線～宮の森・北24条通、麻生地区
事業延長	1560m
うち、事業着手区間	北19条線～宮の森・北24条通、麻生地区
うち、事業着手延長	1560m
現在の道路の状況	



## (4)位置図



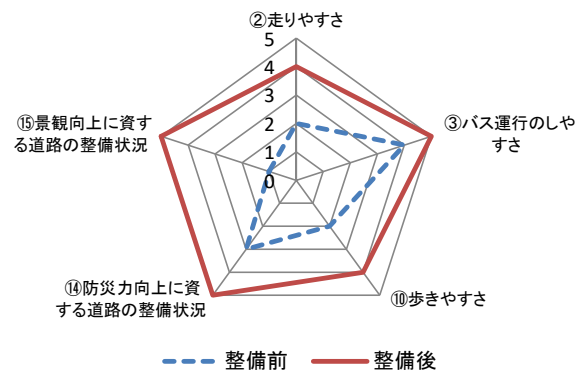
## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク4 車道幅員13m	⇒	ランク5 車道幅員16m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.5m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	電線地中化により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超	⇒	ランク5 電線共同溝整備
⑮景観向上に資する道路の整備状況	道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし	⇒	ランク5 電線地中化あり

## 【グラフ】



## (7)備考

上記の他に、⑫避難施設への移動のしやすさ の面で整備効果があると考えられます。

# 花畔札幌線

## (1)路線の特徴

平成27年10月作成



## (2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・地域防災力の向上
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

## (3)事業概要

路線名	花畔札幌線
事業区間	雁来篠路連絡線～篠路駅前団地本通線
事業延長	530m
うち、事業着手区間	雁来篠路連絡線～篠路駅前団地本通線
うち、事業着手延長	530m

現在の道路の状況

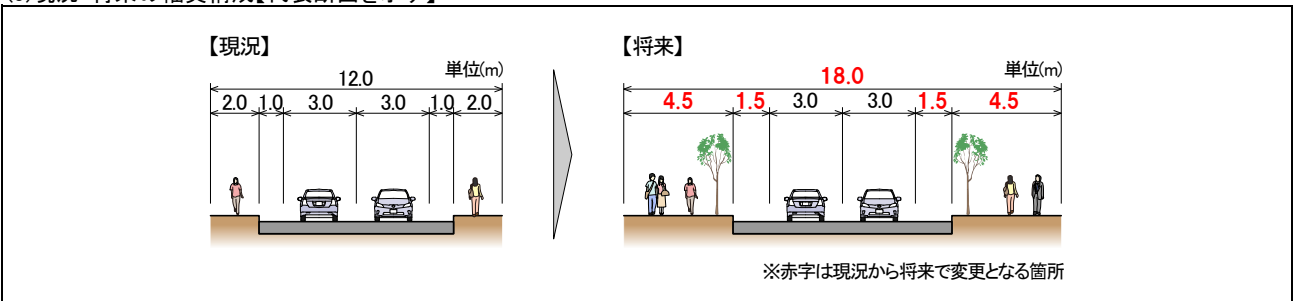
狭隘な歩道      冬期の歩道堆雪      路肩堆雪による冬期混雑状況



## (4)位置図



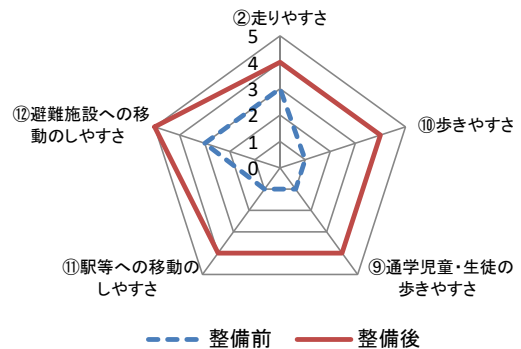
## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員2m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員2m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員2m	⇒	ランク4 歩道幅員4.5m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員2m	⇒	ランク5 歩道幅員4.5m

## 【グラフ】



## (7)備考

上記の他に、⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

# 石山・穴の沢通

## (1)路線の特徴

平成28年4月作成



## (2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・地域間の連携強化
- ・道路整備による石山・藤野・簾舞地区地域交通計画の推進
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保

## (3)事業概要

路線名	石山・穴の沢通
事業区間	石山通～市街化区域界
事業延長	620m
うち、事業着手区間	石山通～市街化区域界
うち、事業着手延長	620m

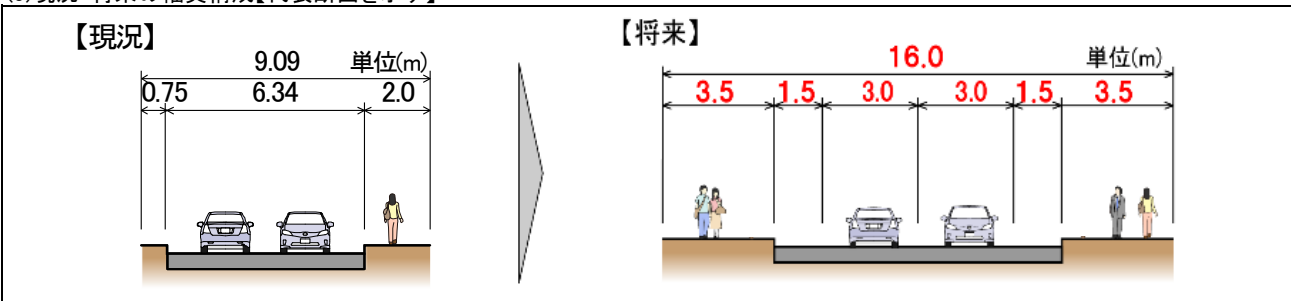
現在の道路の状況



## (4)位置図



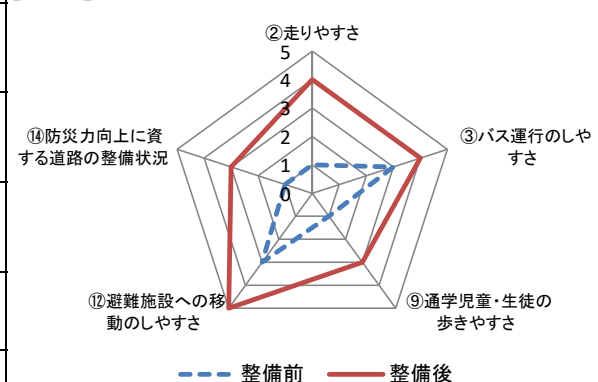
## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0.17m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク3 車道幅員6.34m	⇒	ランク4 車道幅員9m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク1 歩道幅員1.375m	⇒	ランク3 歩道幅員3.5m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員1.375m	⇒	ランク5 歩道幅員3.5m
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下	⇒	ランク3 道路幅員15m超

## 【グラフ】



## (7)備考

上記の他に、⑩歩きやすさ の面で整備効果があると考えられます。

# 山本小野津幌川沿線

## (1)路線の特徴

平成28年4月作成



## (2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・地域間の連携強化
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・公共施設へのアクセス性向上
- ・山本線の交通混雑解消

## (3)事業概要

路線名	山本小野津幌川沿線
事業区間	山本線～道道大麻東雁来線
事業延長	1,500m
うち、事業着手区間	山本線～道道大麻東雁来線
うち、事業着手延長	1,500m

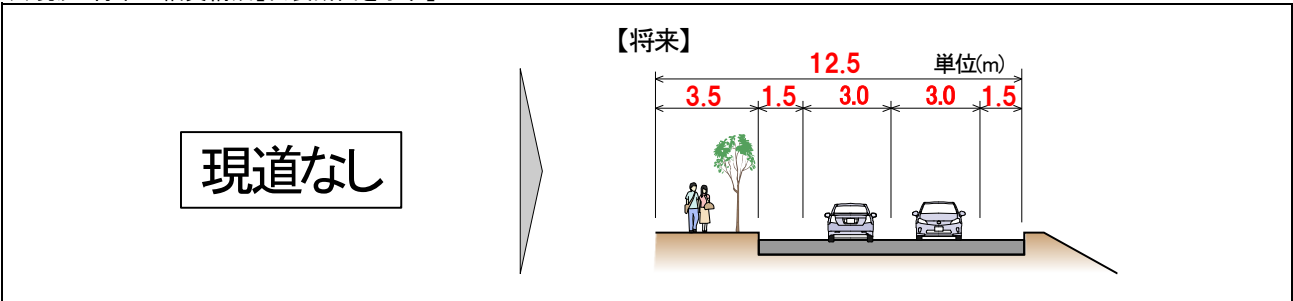
現在の道路の状況



## (4)位置図



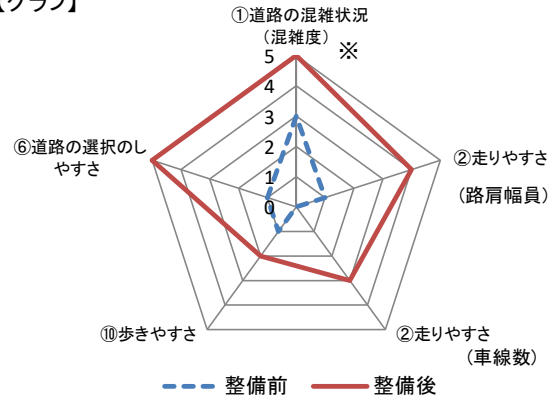
## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
①道路の混雑状況(混雑度)※	交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク3 1.49	⇒	ランク5 0.76
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
②走りやすさ	車線数増により交通の円滑性が向上 -	⇒	ランク3 車線数2
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク2 歩道幅員3.5m
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

## 【グラフ】



※山本線の混雑度について

## (7)備考

上記の他に、⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

# 雁来篠路連絡線及び豊畑通線

## (1)路線の特徴

令和6年3月作成



## (2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・交差点の交通渋滞解消
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・周辺レクリエーション施設へのアクセス性向上

## (3)事業概要

路線名	雁来篠路連絡線及び豊畑通線
事業区間	道道札幌当別線～東雁来第2区画整理34号線
事業延長	3,100m
うち、事業着手区間	道道札幌当別線～市道苗穂三角街道線
うち、事業着手延長	1,700m
現在の道路の状況	



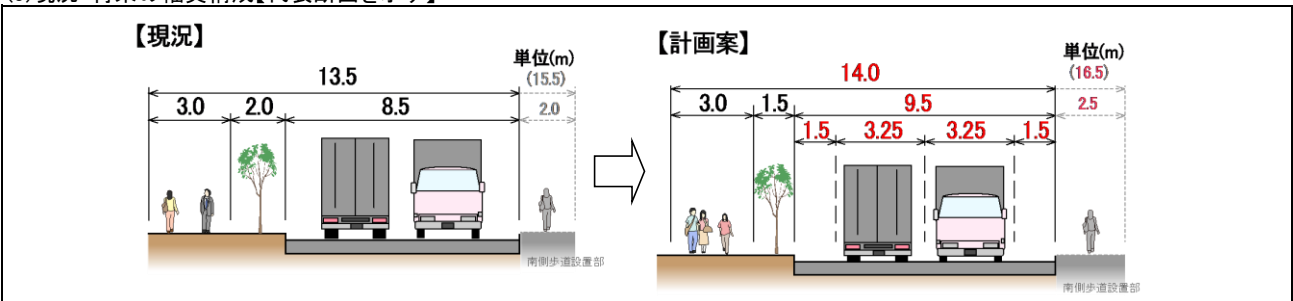
起点側

終点側

## (4)位置図



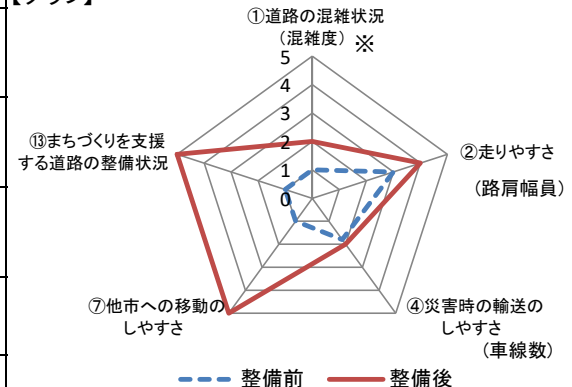
## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
①道路の混雑状況(混雑度)	交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク1 2.01	⇒	ランク2 1.68
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク3 路肩幅員1.25m	⇒	ランク4 路肩幅員1.5m
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク2 車道幅員8.5m	⇒	ランク2 車道幅員9.5m
⑦他市への移動のしやすさ	道路の整備により、他市との連絡が強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

## 【グラフ】



## (7)備考

# 五輪通

## (1)路線の特徴

令和8年3月作成



## (2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・右折レーン設置による混雑緩和
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・札幌都市圏の骨格幹線道路網の形成
- ・地域景観・地域防災力の向上

## (3)事業概要

路線名	五輪通
事業区間	石山通～平岸通
事業延長	1910m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

現在の道路の状況

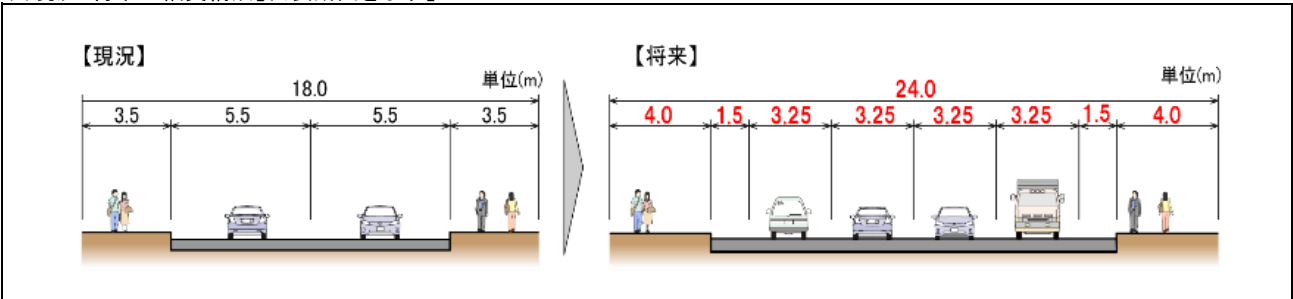
事業区間(整備前)



## (4)位置図



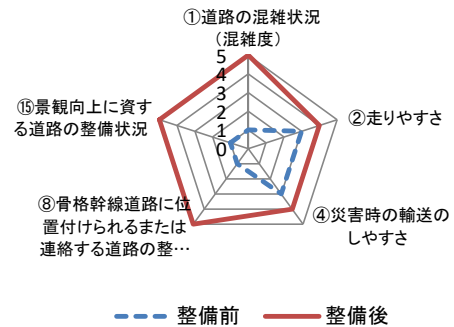
## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
①道路の混雑状況(混雑度)	交通容量が増大し、交通の円滑性が向上 ランク1 2.03	⇒	ランク5 0.785
②走りやすさ	車線数増により交通の円滑性が向上 ランク3 車線数2	⇒	ランク4 車線数4
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク3 車道幅員11m	⇒	ランク4 車道幅員16m
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形性または連絡強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑮景観向上に資する道路の整備状況	道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし	⇒	ランク5 電線地中化あり

## 【グラフ】



## (7)備考

# 平岸通

## (1)路線の特徴

令和8年3月作成



## (2)事業目的

- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・公共交通施設へのアクセス性向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・地域のまちづくりの推進
- ・地域景観・地域防災力の向上
- ・地区計画の推進(真駒内駅前地区地区計画)

## (3)事業概要

路線名	平岸通
事業区間	南区真駒内緑町4丁目地先～南区真駒内幸町3丁目地先
事業延長	830m
うち、事業着手区間	-
うち、事業着手延長	-

現在の道路の状況

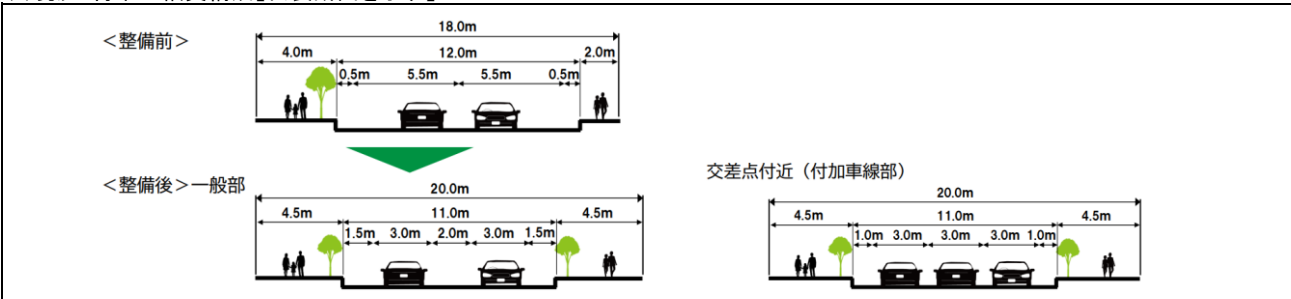
事業区間(整備前)



## (4)位置図



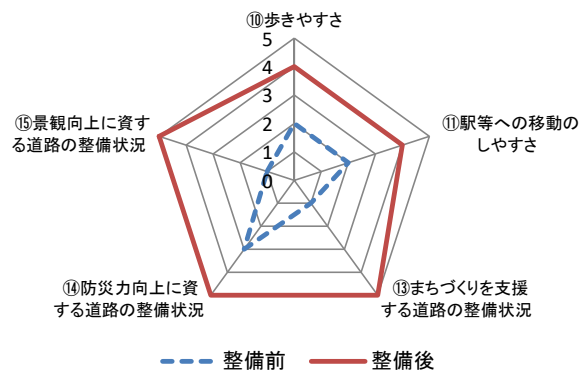
## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 整備なし	⇒	ランク4 整備あり
⑪駅等への移動のしやすさ	整備により駅利用時の利便性が向上 ランク2 整備なし	⇒	ランク4 整備あり
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	近傍にある地区計画の市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク3 道路幅員15m超	⇒	ランク5 電線共同溝整備
⑮景観向上に資する道路の整備状況	道路の整備により、沿道の景観が向上 ランク1 電線地中化なし	⇒	ランク5 電線地中化あり

## 【グラフ】



## (7)備考

--

# 篠路駅西通

令和4年3月作成

## (1)路線の特徴



## (2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・交通結節点へのアクセス性向上
- ・地域間の連携強化
- ・避難所へのアクセス性向上
- ・篠路駅周辺地区の市街地整備の促進

## (3)事業概要

路線名	篠路駅西通
事業区間	篠路宅造2号線～東8丁目・篠路通
事業延長	200m
うち、事業着手区間	200m
うち、事業着手延長	200m

### 現在の道路の状況

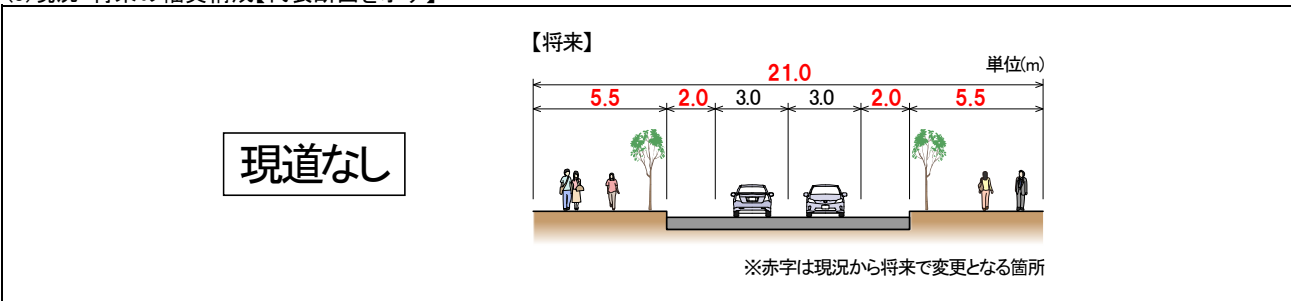
事業区間(一部未整備区間有り)



## (4)位置図



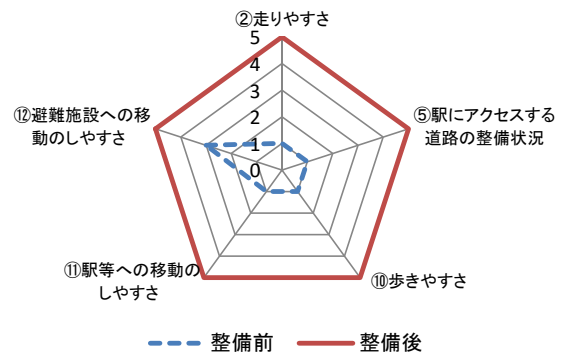
## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
⑤駅にアクセスする道路の整備状況	駅への車でのアクセス性が向上 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m
⑪駅等への移動のしやすさ	駅にアクセスする歩道が広くなり駅利用時の利便性が向上 ランク1 歩道幅員0m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員0m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m

### 【グラフ】



## (7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ③まちづくりを支援する道路の整備状況 ④防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

# 新琴似・屯田通

## (1)路線の特徴



令和4年3月作成

## (2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

## (3)事業概要

路線名	新琴似・屯田通
事業区間	西5丁目・樽川通～屯田4条線
事業延長	1220m
うち、事業着手区間	西5丁目・樽川通～屯田4条線
うち、事業着手延長	1220m

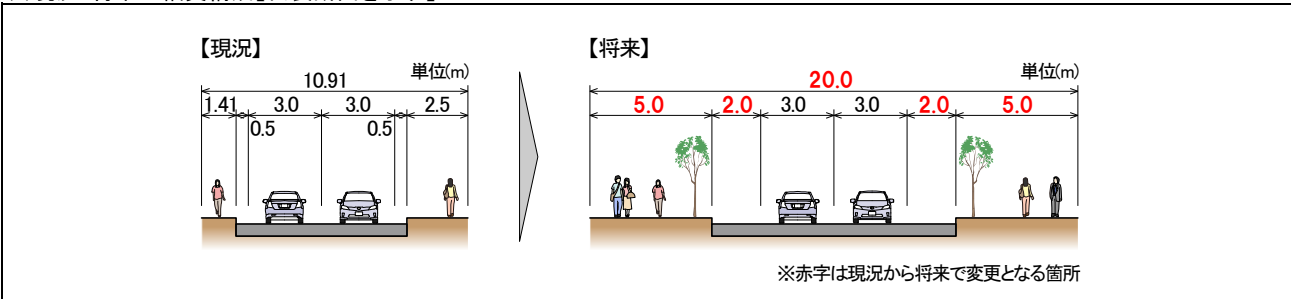
現在の道路の状況



## (4)位置図



## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	ランク2 路肩幅員0.5m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
③バス運行のしやすさ	ランク2 車道幅員7m	⇒	ランク4 車道幅員10m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	ランク1 歩道幅員1.41m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
⑩歩きやすさ	ランク1 歩道幅員1.41m	⇒	ランク5 歩道幅員5m
⑫避難施設への移動のしやすさ	ランク1 歩道幅員1.41m	⇒	ランク5 歩道幅員5m

【グラフ】

--- 整備前    — 整備後

## (7)備考

上記の他に、④災害時の輸送のしやすさ ⑬防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

# 宮の森・北24条通 北24条桜大橋

## (1)路線の特徴

令和6年3月作成



## (2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・道路ネットワークの構築
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・地域間の連携強化
- ・避難所へのアクセス性向上

## (3)事業概要

路線名	宮の森・北24条通 北24条桜大橋
事業区間	北1条・雁来通～南7条・米里通
事業延長	1360m (米里通の一部を含む)
うち、事業着手区間	北1条・雁来通～南7条・米里通
うち、事業着手延長	1360m (米里通の一部を含む)

現在の道路の状況

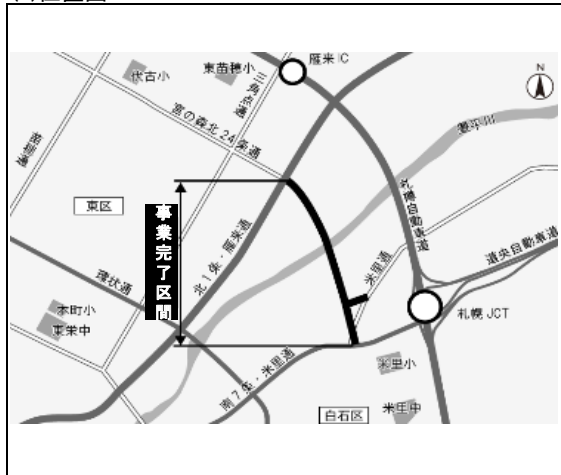
整備前(環状北大橋 渋滞状況)



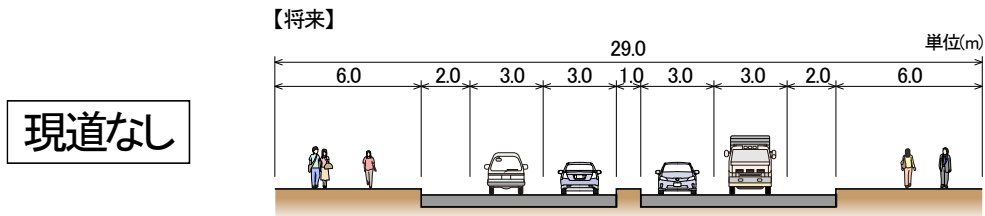
整備後



## (4)位置図



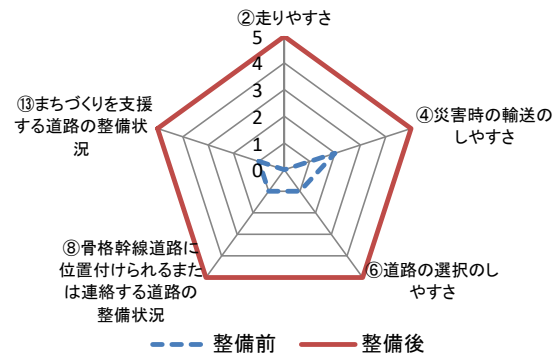
## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 - 路肩幅員-m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク2 車道幅員0m	⇒	ランク5 車道幅員17m
⑥道路の選択のしやすさ	道路の整備により、選択可能な道路が増加 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑧骨格幹線道路に位置付けられるまたは連絡する道路の整備状況	道路整備により都市の骨格となる幹線道路が形成または連絡強化 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり
⑬まちづくりを支援する道路の整備状況	道路の整備により、周辺市街地形成を支援 ランク1 整備なし	⇒	ランク5 整備あり

## 【グラフ】



## (7)備考

上記の他に、⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

# 新琴似3番通

## (1)路線の特徴

令和6年3月作成



## (2)事業目的

- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・バス交通の利便性・定時性向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

## (3)事業概要

路線名	新琴似3番通
事業区間	琴似・栄町通～新琴似通
事業延長	980m
うち、事業着手区間	琴似・栄町通～新琴似通
うち、事業着手延長	980m

### 現在の道路の状況

堆雪によるバス交差時の混雑



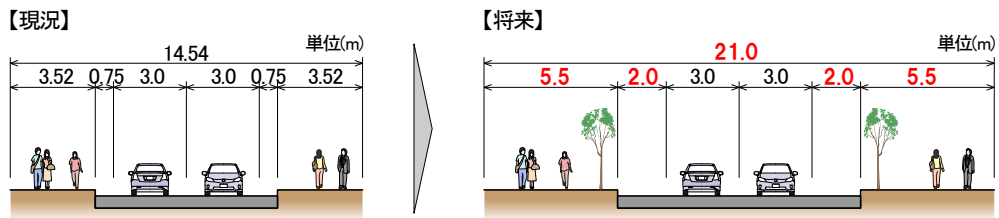
整備後



## (4)位置図



## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】

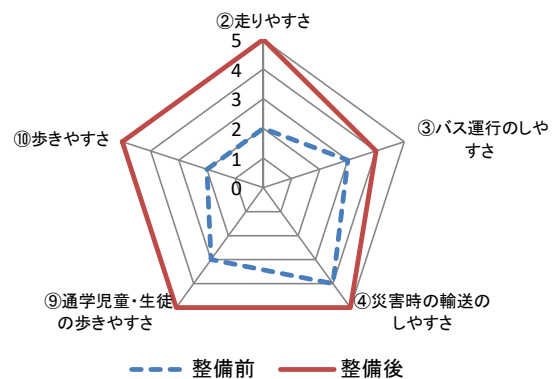


※赤字は現況から将来で変更となる箇所

## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク2 路肩幅員0.75m	⇒	ランク5 路肩幅員2m
③バス運行のしやすさ	道路が広がりバス運行の円滑性が向上 ランク3 車道幅員7.5m	⇒	ランク4 車道幅員10m
④災害時の輸送のしやすさ	災害時に緊急輸送路として活用可能 ランク4 車道幅員7.5m	⇒	ランク5 車道幅員10m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員3.52m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク2 歩道幅員3.52m	⇒	ランク5 歩道幅員5.5m

### 【グラフ】



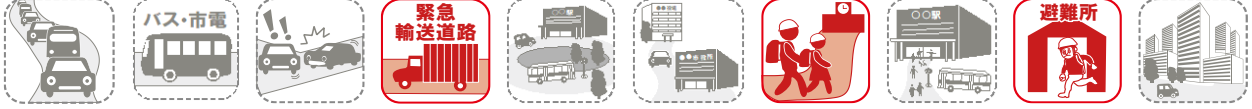
## (7)備考

上記の他に、⑫避難施設への移動のしやすさ ⑭防災力向上に資する道路の整備状況 の面で整備効果があると考えられます。

# 真駒内御料札幌線

## (1)路線の特徴

令和6年3月作成



## (2)事業目的

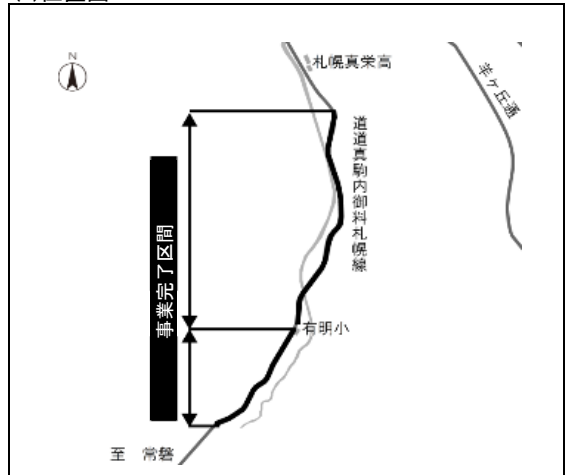
- ・自動車交通の円滑性向上
- ・歩行者の歩きやすさ向上
- ・災害時の緊急輸送路の確保
- ・児童・生徒の通学時安全性向上
- ・避難所へのアクセス性向上

## (3)事業概要

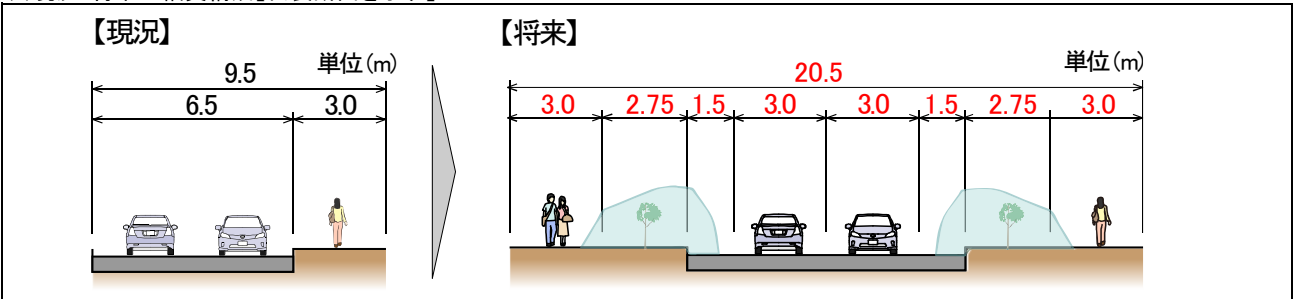
路線名	真駒内御料札幌線
事業区間	有明小学校～有明248-2地先
事業延長	1000m
うち、事業着手区間	有明小学校～有明248-2地先
うち、事業着手延長	1000m
整備前	整備後



## (4)位置図



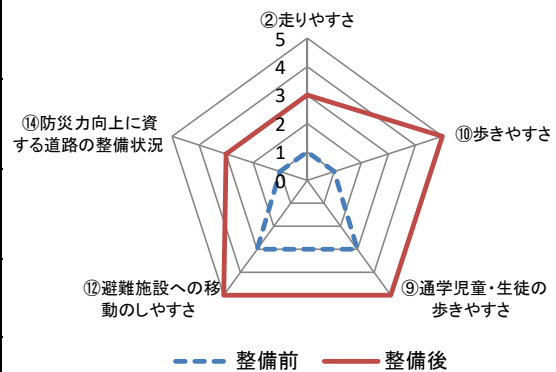
## (5)現況・将来の幅員構成【代表断面を示す】



## (6)整備効果

指標	整備前	⇒	整備後
②走りやすさ	路肩が確保され交通の円滑性が向上 ランク1 路肩幅員0.25m	⇒	ランク3 路肩幅員1.25m
⑩歩きやすさ	歩道が広がり歩行者交通の円滑性が向上 ランク1 歩道幅員1.5m	⇒	ランク5 歩道幅員6m
⑨通学児童・生徒の歩きやすさ	通学路の歩道が広くなり通学時の安全性が向上 ランク3 歩道幅員1.5m	⇒	ランク5 歩道幅員6m
⑫避難施設への移動のしやすさ	歩道が広くなることにより緊急時の避難路として活用可能 ランク3 歩道幅員1.5m	⇒	ランク5 歩道幅員6m
⑭防災力向上に資する道路の整備状況	道路幅員増により道路の防災力が向上 ランク1 道路幅員15m以下	⇒	ランク3 道路幅員15m超

## 【グラフ】



## (7)備考